

トラマネ協会

訪問模擬監査

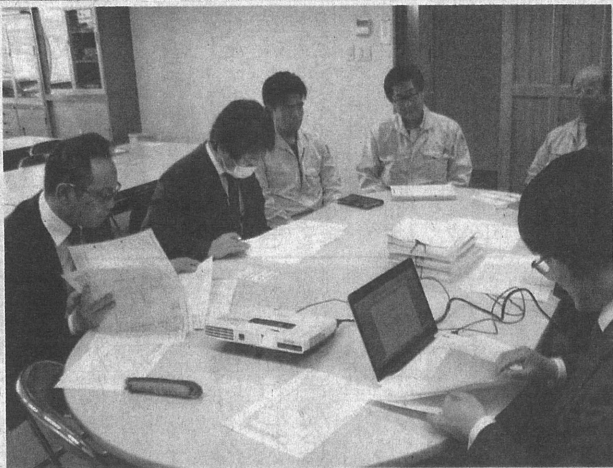
本番に近い状況再現

【愛知】トラック・マネジメント協会(瀬尾国大会長、第一名誠)は16日、同協会の特徴的な活動の1つである、訪問

模擬監査を実施。今年から、会員企業となったタカラ梱包輸送(池田哲朗社長、豊川市)を訪問した。

当日は、瀬尾会長、和田康宏理事(あいち経営コンサルタント)、会員事業者が訪問し、関係書類をチェック。監査する側から問題点や改善点などを指摘し、タカラ梱包輸送の東清光常務と輸送担当部長の中村真久氏らを中心に、質疑

応答を繰り返しながを通過し、後日、和田ら進められた。主に理事長から改善ポイントが書面で伝えられる。本番さながら記録証明書などに目の模擬監査というこ



訪問模擬監査

ともあり、よき実際のシチュエーションに近い状況で行われた。

また、評価の高い独自の取り組みとして、安全や品質に関する取り組みや実績がグラフ化されている点が上がられた。タカラ梱包輸送では、社内での「見える化」を推進しており、各社員の安全決意文やエコドライブの進捗状況など、掲示物として分かりやすく表示している。

次回の同協会の取り組みも、会員企業での訪問模擬監査を予定している。

(伊藤行理)